

令和8年産京都八木産ヒノヒカリ 栽培指針 (液肥利用特別栽培米)

月旬	11月~12月		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月						
			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬						
生育																											
主な作業	SUS		JAで実施 温湯消毒			は種			代かき			箱処理 田植え 除草剤			中干し			草刈			仕上防除			落水			刈取り

水管理	深水		やや浅水			中干			間断かんがい			深水			間断かんがい			落水
-----	----	--	------	--	--	----	--	--	--------	--	--	----	--	--	--------	--	--	----

10aあたりの施肥例

床土消毒
ダコニール1000
(育苗センター苗)

元肥
秋又は春に液肥
4t/10a

元肥(初期用)
新京都有機200号
20kg/10a

稲大樽箱粒剤
50g/1箱

除草剤(いずれか一つ)
●シグキ1キログラム
移植直後~1kg/10a
田植直後から1週間以内の
散布が効果的
●クリンチャー1キログラム
移植直後~1kg/10a
移植後25日からノビエ5葉期
ただし、収穫30日前まで

穂肥
液肥
2t/10a

トツプジンスターク
ルフロアブル
無人ヘリ仕上げ防除

作業のポイント	11月~12月	5月	6月	7月	8月	9月~10月
	<p>1、土壌消毒</p> <ul style="list-style-type: none"> 排水につとめる ワラ全量還元 	<p>2、種苗更新の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 温度管理に注意する 苗の軟弱徒長にならないよう一六〇箱当り 種苗は催芽モミで 種子更新の実施 催芽、うすまきで充実した苗作り 	<p>3、太い茎を早く作る</p> <ul style="list-style-type: none"> その後は浅水管理を基本とする 活着までは、深水管理とし 4~5日は水を動かさないようにする 除草剤散布後は深水として 一株に三本程度の細植を励行 暖かい日に田植をする 強風、雨天、低温の日を避け 田面を均平にする 	<p>4、倒伏防止と受光態勢の向上を、中干しで丈夫な稲体をつくり、</p> <ul style="list-style-type: none"> 開始し、砂質田では足跡が軽くつく程度の硬さがよい 中干しは一株一八〇本で <p>酸素をたくさん取り入れて丈夫な根っこをつくらよ!</p>	<p>5、いもち病防除と穂肥散布</p> <ul style="list-style-type: none"> 行いましょう 出穂の一週間前までに草刈りをと量を決めましょう 葉色と生育に応じて穂肥時期 症状が出た場合はご連絡を 防除剤の使用はできませんので 特別栽培米では途中でいもち病 	<p>6、一等米仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 一穂中の9割が黄色くなった頃に 適期刈取は、出穂後40日を目安に 仕上防除でカメムシ被害を抑制 その後は、間断かんがいを 出穂期前後は、やや深水管理